

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育
園田学園女子大学
 園田学園女子大学短期大学部
 〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1
 [学部・学科]
 ●人間健康学部/総合健康学科 ●人間教育学部/児童教育学科
 ●人間看護学部/人間看護学科 ●短期大学部/生活文化学科
 食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター
 TEL 06-6429-9137
 FAX 06-6429-9116
 URL http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html



加治 遥

神戸オープン単V
関西オープン単V
関西学生春季単V3



冴えるショット
クールなプレー

これがエースの輝き

加治が

3冠

3連覇

テニス部のエース加治遥（総合健康学科3年）が今季も快調に勝利を重ねている。4月5日にシングルス決勝があった神戸オープン初制覇すると、5月の関西オープンでも栄冠に輝いた。続く関西学生春季トーナメントでは1セットも落とさず決勝に進み、大会3連覇がかかった決勝は6-3、1-6、6-3で伊藤遥（関学大）を退けた。加治と渡邊はるか（同1年）が組んだダブルスは準決勝で惜敗したが、園田学園女子大勢はベスト8の池田紗也（同3年）・大石歩美（食物栄養学科2年）組も含め、2組が全日本学生選手権の出場権を獲得した。

実力と成長を証明

1年生で関西学生春季トーナメントの単複2冠に輝いてから2年がたち、加治は「落ち着いて考えながらプレーすることができました」と成長したテニスを



加治・渡邊組

見せつけた。神戸オープンは勝ち上がるにつれて厳しい試合が続いたが、準決勝で対戦相手を第3セットで振り切ると、決勝はストレートで決着させた。

関西オープンの準々決勝も第1セットを落とすとして劣勢に立たされたが冷静に立て直した。準決勝、決勝はストレートで対戦相手を破り、技術とともに精神的な成長を感じさせた。神戸、関西と2連勝した加治は「一般の大会で優勝できたことはとてもうれしかったですし、試合をしていく中でプレーが良くなりました」と自信を深めた。

応援を力に快挙達成

学生テニスの本格的な開幕となる関西学生春季トーナメントで加治は女子シングルス3連覇が懸かり、注目された。コンディションを大会に合わせて、ゲームを

先取される場面もあったが主権を握って離さなかったあたりはさすが。昨年までと比べ、ショットの精度が高まり、きわどいスペースに打ち込む場面が多く見られた。さらにショットの強弱をアレンジする巧みさも加わり、次々と相手を封じていった。「たくさん応援をいただき、すごく力になりました。うれしさとホッとした気持ちがあります」と加治。重圧をはねのけ、笑顔の3連覇となった。

2年ぶりの頂点を目指したダブルスはルーキーの渡邊と組んだ。ベスト4まで順調に勝ち上がったが、準決勝は2セットともタイプブレードに持ち込んで粘ったものの相手ペアが一步上手だった。それでも加治は「初ペアでしたが、お互いの長所を生かすプレーができました」と、手ごたえをつかんでいた。

チームが掲げる大きな目標が全日本大学対抗王座決定試合（10月）だ。その関西代表を決める関西大学対抗リーグ戦は昨年惜しくも3位。王座進出を逃した。ダブルスで1勝もできずに敗れた試合が2つあり、ダブルスの強化が課題だった。

一丸で3年ぶりの王座決定試合へ

関西学生春季ではその



池田(紗)・大石組



足立・岡組

成果の一端が見えた。加治・渡邊組が4強、池田・大石組が8強に入った他、2回戦で加治・渡邊組に敗れた足立芽衣（総合健康学科4年）・岡実里（同2年）組がインカレ選考に回って勝利し、インカレ予選進出を決めた。3年ぶりの王座決定試合出場へ弾みをつけた。個性が濃く、パワーが

大会成績

◆神戸オープン(女子シングルス)	池田 ○ (6-1) 古崎
▽準々決勝	足立 ● (2-6) 岡実里
▽準決勝	加治 ○ (6-3) 岡実里
▽決勝	加治 ○ (6-1) 東中
◆関西オープン(女子シングルス)	池田 ○ (6-1) 伊藤
▽準々決勝	大石 ● (1-6) 北川
▽準決勝	加治 ○ (6-2) 田尻
▽決勝	加治 ○ (6-4) 北川
◆毎日オープン	池田 ○ (6-1) 伊藤
◆関西学生春季トーナメント	池田 ○ (6-1) 伊藤
▽1回戦	志村 ● (1-6) 伊藤
▽2回戦	池田 ○ (6-2) 伊藤
▽準々決勝	池田 ○ (6-2) 伊藤
▽準決勝	池田 ○ (6-0) 伊藤
▽決勝	池田 ○ (6-0) 伊藤
◆関西学生春季(女子シングルス)	池田 ○ (6-1) 伊藤
▽1回戦	志村 ● (1-6) 伊藤
▽2回戦	池田 ○ (6-2) 伊藤
▽準々決勝	池田 ○ (6-2) 伊藤
▽準決勝	池田 ○ (6-0) 伊藤
▽決勝	池田 ○ (6-0) 伊藤

クイーン・オブ・アスリート

女子七種競技

100mハードル、走高跳、砲丸投、200m、走幅跳、やり投、800mを連続する2日間で行い、それぞれの記録を得点化して合計得点で争う。宇都宮の5460点の内訳は100mハードル14秒35(929点)、走幅跳5m73(768点)、800m2分12秒94(922点)などだった。この種目を制する者は「クイーン・オブ・アスリート」と敬われる。日本記録は5962点、日本学生記録は5678点。



宇都宮 関西学生新記録 七種競技 5460点 & 日本歴代10位

宇都宮が関西初制覇 次は大学日本一めざす

陸上競技の第92回関西学生対校選手権(5月14-17日・関西インカレ)で園田学園女大は女子総合4位の成績をあげた。主将の宇都宮絵莉(児童教育学科4年)が走幅跳と七種競技で2冠に輝き、棒高跳ではルーキーの那須真由(総合健康学科)が1年生Vを飾った。400mリレーと1600mリレーはそれぞれ3位。走跳投の各種目での入賞(優勝含む)は17を数えた。4月に七種競技で日本歴代10位の5460点をマークした宇都宮は日本代表としてアジア選手権に出場し、7位に入賞した。

関西インカレ女子総合4位

宇都宮七種&走幅跳2冠 那須が棒高跳1年生V



中学・高校時代に走幅跳で日本一を経験している宇都宮だが、関西インカレでは昨年七種競技の2位が最高。学生最後のシーズンに懸ける思いは人一倍強い。その意気込みは4月から結果となって表れた。日本選抜和歌山大会の七種競技で5460点をマークして2位に。第1種目の100mハードルを14秒35で好発進し、やり投と800mも自己新記録。日本歴代10位&関西学生新記録のハイスコアをたたき出した。



400mハードル6位の川原優2年連続入賞

の跳躍で自身3年ぶりの6m台(6m02)を跳んで逆転優勝した。「みんなが競技や応援に頑張っている姿を見て、主将として中途半端なことではできないと思って頑張れた」と宇都宮。「自己新が目標」と楽しみにしていたアジア選手権では5171点で7位。9月の日本学生対校選手権で悲願の日本一をめざす。

1600mリレー園田新

関西インカレ1600mリレーで浅野史帆(生活文化学科2年)一稲岡真由(食物栄養学科1年)一加藤美音流(総合健康学科2年)一堀出百花(同1年)とつないだ園田チームが3位に入賞した。3分43秒55は「園田新記録」。6月の西日本インカレでは浅野一名倉千晃(生活文化学科2年)一加藤一稲岡で3分43秒99をマークして2位の好成績。日本インカレ入賞が視野に入ってきた。



2走稲岡から3走加藤にバトンが渡る

園田勢は関西インカレで自己新記録を量産した。100mハードルの中島ひとみ(児童教育学科2年)が13秒68、400mの浅野史帆(同4年)が56秒90をマーク。中島は日本選手権参加標準記録を突破した。400mハードルでは川原優(総合健康学科3年)と大平優希子(同1年)の2人が決勝進出。10台目のハードルを越えた時点では大平がリードしていたが、最後は川原が先輩の意地を見せ、自身初の1分切りとなる59秒76で6位に。大平も自己新の1分00秒10で7位に入った。

投てきでは砲丸投3位&円盤投8位と2種目で入賞した内田千香子(同2年)の健闘が光った。

自己新&入賞ラッシュ

主要大会上位成績

◆兵庫学生女子選手権(優勝のみ)
▽100m①名倉12秒54▽400mリレー①園田女大E(浦山・宇都宮・山村・荒木)47秒96▽砲丸投①内田13m14▽やり投①松田44m47
◆日本選抜和歌山大会
女子七種競技
②宇都宮5460点(100mハードル14秒35、走幅跳1m54、砲丸投10m30、200m24秒98、走幅跳5m73、やり投43m61、800m2分12秒94)◆関西学生新
◆兵庫リレーカーニバル
女子一般400mリレー③47秒39(久貝・中島・山村・小松)
◆関西学生対校選手権
▽200m⑥名倉25秒01▽400m⑧浅野57秒85▽100mハードル⑤中島13秒92▽400mハードル⑥川原59秒76▽大平1分00秒10▽400mリレー③45秒96(鈴木・名倉・久貝・中島)▽1600mリレー③3分43秒55(浅野・稲岡・加藤・堀出)▽棒高跳①那須3m70▽竹上3m70▽大矢3m50
▽走幅跳①宇都宮6m02▽三段跳⑥田澤11m97▽砲丸投③内田13m79▽円盤投③内田39m20▽七種競技①宇都宮5251点⑤鷺見4332点⑦新川4239点
▽女子総合4位

棒高跳トリプル入賞



(左から)那須、大矢、竹上

棒高跳陣が関西インカレで躍動した。那須真由(総合健康学科1年)が3m70を1回でクリアして1年生Vを飾り、同級生の竹上ほの香(同)も3m70を3回目に跳んで4位に入賞。期待の新人が実力を発揮した。前回3m00の大矢莉子(同4年)は記録を3m50に伸ばして6位入賞。9月のインカレは大阪開催。棒高跳3人娘の飛翔に注目したい。



リゲで戦は下位

2015年関西学生春季リーグ戦は4月に開幕。園田学園女大は順調に合宿・練習を積み、1部3位以上を目標に掲げるほどの手ごたえを持って1部リーグに参戦した。対戦相手がどの大学であれ、緊張しつつも落とせない初戦はセットカウント3-1で快勝し、絶好のスタートを切った。しかし好成績多し。頼れるレギュラー陣にケガが相次ぐ不運に見舞われた。自分たちのバレースタイルを発揮できず、白星から遠ざかった。前半戦の5試合では1勝4敗と苦戦が続き、後半戦は下位



波に乗れず遠い白星

のスタートとなった。

後半戦に入ってもチームは波に乗れず、思い通りのゲーム展開に持ち込めない。結果は1勝4敗となり得失点差で1部12位。2部との入替戦に回った。入替戦の相手は2部優勝の芦屋大。元Vリーグ選手を擁するチームから第1セットを奪ったが、第2

バレーボールの関西学生春季リーグ戦に3季連続して1部で臨んだ園田学園女大。初戦白星スタートだったが、黒星が重なり不本意な1部12位。入替戦にも敗れ、2部降格となった。



関西学生リーグ秋に1部復帰目指す

2015年度の軟式野球部は部員18人(4年生6人、3年生2人、2年生5人、1年生5人)で元気よく活動しています。昨年は全日本大学女子選手権で過去最高のベスト4に進出。自信をしっかりと結び、力が強くなった。今年で1年でした。

全国4強以上を目指して 軟式野球部

日々の練習ではお互いに切磋琢磨し、プレーの技術を磨いています。今年もチームワークの良さを生かして全国大会に臨み、1試合1試合を楽しみながら、後悔のないように戦います。

◆関西地区大学女子春季リーグ
園田女大△5-5 武庫川女大
●2-3 大阪体育大
○9-5 大阪芸術大
●1-6 武庫川女大
○0-1 大阪体育大
○9-1 大阪芸術大
(2勝3敗1分・第3位)

◆関西学生リーグ戦(1部)
第1戦 園田女大○3-1大阪国際大
第2戦 ●0-3神戸親和女大
第3戦 ●0-3帝塚山大
第4戦 ●0-3京都橋大
第5戦 ●2-3神戸学院大
(1部下位リーグ)
第6戦 ●0-3大阪体大
第7戦 ●1-3大阪国際大
第8戦 ○3-1神戸学院大
第9戦 ●1-3京都産業大
第10戦 ●2-3武庫川女大
通算戦績2勝8敗(12位)
(入替戦)
園田女大●1-3芦屋大

◆関西学生リーグ戦(2部)
第1戦 園田女大○3-1大阪国際大
第2戦 ●0-3神戸親和女大
第3戦 ●0-3帝塚山大
第4戦 ●0-3京都橋大
第5戦 ●2-3神戸学院大
(1部下位リーグ)
第6戦 ●0-3大阪体大
第7戦 ●1-3大阪国際大
第8戦 ○3-1神戸学院大
第9戦 ●1-3京都産業大
第10戦 ●2-3武庫川女大
通算戦績2勝8敗(12位)
(入替戦)
園田女大●1-3芦屋大



全関西女子ベスト8

強豪撃破で自信と勢い

春の全関西女子学生選手権に臨んだバスケットボール部は4回戦で武庫川女大を87-77で退けベスト8進出を果たした。続く西日本学生選手権ではベスト16。チームは着実に成長している。

全関西 強豪下して7位

昨季リーグ戦2部1位の園田学園女大は全関西3回戦から登場した。びわすポ大に71-53で快勝したが、初戦の緊張が見られ、攻守に反省を残した。

4回戦は1部リーグ所属の武庫川女大戦。新チームの真価が問われる一戦だ。序盤から全員が積極的にボールを追い、前半を終えてビハインドを3点にとどめた。

粘り強く食い下がる中でリズムをつかみ、主将の宮本明寿香(児童教育学科4年)の気迫あふれるプレーがチームを奮い立たせた。ガード田中友里乃(総合健康学科3年)、体を張ってディフェンスした福島朋実(児童教育学科4年)らセ



ドリブルでリングに向かう前田

ンター陣、シユートが安定した前田実咲(同3年)ら、ベンチと応援スタンドが一体となり、逆転に成功。87-77で勝利し、ベスト8進出を決めた。

準々決勝は関西学院大と対戦。序盤リードする場面もあったが、シユートチャンスがなかなか実らず、引き離された。準決勝進出は逃したが、第4ピリオドは3ポイントシユートを効果的に決めて24-23と一矢報いた。

立命館大との7-8位順位決定戦は前半から45-23とたたみ掛けた。後半に反撃されたが、リードを守り、全関西7位となった。

西日本 自信と課題つかむ

6月に大阪で行われた西日本学生選手権。前回は初戦敗退だったが、今回は1回戦で東海3位の中部大に



シユートを狙う宮本

ね、第4ピリオドで大逆転勝利を収めた。ベスト8進出を懸けた4回戦は前回優勝の大阪体大とぶつかり、力の差を見せつけられた。シーズン前半の主要2大会では新チームの実力と課題が明らかになった。秋のリーグ戦で悲願の1部昇格を決めるための自信が膨らんだ。

大会成績

全関西女子学生選手権	西日本学生選手権
<ul style="list-style-type: none"> 4回戦: 36 (大阪体大) 3回戦: 66 (鹿屋体大) 2回戦: 74 (沖繩大) 1回戦: 61 (中部大) 	<ul style="list-style-type: none"> 4回戦: 71 (びわすポ大) 3回戦: 87 (武庫川女大) 2回戦: 63 (関西学院大) 1回戦: 89 (中部大)

河野が全日本学生選手権へ

剣道部

個人戦で争われる第45回関西女子学生選手権は4月26日、大阪の舞洲アリーナで行われ、園田学園女大は河野明日美(児童教育学科4年)が4回戦を突破。ベスト8進出は逃したが、全日本女子学生選手権への出場権を獲得した。



今季初戦の兵庫学生選手権の個人戦で関屋祥子(総合健康学科4年)が3位に入賞。河野と主将の堤鈴花(同)がベスト8の成績を残した。

続く関西女子学生選手権はベスト16に入れば、全日本学生の出場権を得られる大会。期待された関屋と堤だったが、強豪ひしめく組み合わせゾーンに入り、ともに4回戦敗退。あと1勝で全日本学生という悔しい

大会成績

関西女子学生選手権	西日本学生選手権
<ul style="list-style-type: none"> 2回戦: 高瀬(大阪教育大) 1回戦: 小日山(甲南大) 〇ココ 宇野(神戸学院大) 〇ココ 松本(龍谷大) 〇ココ 五十嵐(大阪教育大) 〇ココ 水谷(佛教大) 〇ココ 二見(京都産業大) 〇ココ 大住(天理大) 	<ul style="list-style-type: none"> 2回戦: 白木原(立命館大) 1回戦: 山口(和歌山大) 〇ココ 安原(近畿大) 〇ココ 二宮(龍谷大)

団体戦の西日本学生選手権(5月)は、初戦で代表戦の末に惜敗した。相手の面に飛び込んだ瞬間の手足を小手で狙われた堤は「一瞬の差の負けは悔しい」という言葉では足りないくらい」とくちびるをかけた。この悔しさを晴らすために、初心に戻って努力を積み、次の大会では笑っていた」と巻き返しを誓っていた。

It's fresh 活動レポート

チアリーディング部「WHITE TIGERS」

私たちWHITE TIGERSは、2006年に同好会からスタートしました。現在ではクラブ活動となり、各種大会や地域イベント、実業団スポーツ(アメリカンフットボール、バスケットボール、バレーボール)など多方面で演技と応援を披露しています。今年度は「産業技術短期大学★体育会」で「神戸まつり」でも演技を行いました。日々自分たちが掲げる理想の演技を追求しています。そして、WHITE TIGERSの演技でたくさんの方に元気、勇気を与えることが最大の目標です。

未来が広がるSONODAの学科・コース

人間健康学部	<p>総合健康学科</p> <p>養護コース 「保健室の先生」に必要な力を修得します。 (めざす資格) 養護教諭一種免許、健康運動指導士(受験資格)、健康運動実践指導者(受験資格)、スポーツプログラマー(受験資格)等</p> <p>健康スポーツコース 「スポーツのSONODA」で運動を通じた健康サポートを学びます。 (めざす資格) 中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許(保健体育)、健康運動指導士(受験資格)、健康運動実践指導者(受験資格)、スポーツプログラマー(受験資格)、日本体育協会公認エアロビクスダンス指導員(受験資格)等</p> <p>人間看護学科 技術とこころをみがき、かけがえのない「いのち」を支えます。 (めざす資格) 看護師(国家試験受験資格)、保健師(国家試験受験資格/選択制)、助産師(同前)等</p> <p>食物栄養学科 食と健康をマネジメントする管理栄養士へ。スポーツ栄養も本格的に学びます。 (めざす資格) 管理栄養士(国家試験受験資格)、栄養士、栄養教諭一種免許、フードスペシャリスト(受験資格)等</p>
人間教育学部	<p>児童教育学科</p> <p>幼保教育コース 時代のニーズに応じることのできる質の高い保育者をめざします。 (めざす資格) 保育士、幼稚園教諭一種免許、幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格、社会福祉主事任用資格、※小学校教諭一種免許取得可能</p> <p>児童教育コース 幼稚園教諭・小学校教諭の免許取得を中心に学び、信頼される先生をめざします。 (めざす資格) 幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格、社会福祉主事任用資格、※保育士取得可能</p>
短期大学部	<p>生活文化学科</p> <p>製菓クリエイトコース 第一線で活躍する製菓の専門家をめざします。 (めざす資格) 製菓衛生師(国家試験受験資格)、フードスペシャリスト(受験資格)</p> <p>生活キャリアコース ビジネススキルを身に付けた社会の即戦力となる人材をめざします。 (めざす資格) 医事管理士、医療管理秘書士、色彩検定、Microsoft Office Specialist、日商PC検定、簿記検定、Webクリエイター能力検定、ファッション販売能力検定、食空間コーディネーター、リビングスタイリスト検定、上級情報処理士、上級秘書士</p> <p>幼児教育学科 豊富な現場実習と多彩な学びで現場が求める幼稚園教諭・保育士へ。 (めざす資格) 幼稚園教諭二種免許、保育士さらに「こども音楽療育士」の資格取得をめざせます。</p>

2015年度クラブ新入生

私たちは、SONODAで心・技・体を磨きます！

【テニス部】	小森 瑠香(和歌山信愛高校・和歌山) 潮崎 麻菜(園田学園高校・兵庫) 下吹越紗羅(大阪桐蔭高校・大阪) 田中 璃乃(安城学園高校・愛知) 藤田 美咲(大阪桐蔭高校・大阪) 西畝 杏(汎愛高校・大阪) 藤 朋美(和歌山信愛高校・和歌山) 横山 秀美(日新高校・大阪) 久保 恵実(箕面自由学園高校・大阪)	杉本 莉奈(近大泉州高校・大阪) 杉山 直佳(市尼崎高校・兵庫)
【ソフトボール部】	石川 恭子(藤村女子高校・東京) 根本 七海(藤村女子高校・東京) 市谷 愛理(伊勢学園高校・三重) 東 愛莉(奈良文化高校・奈良) 宮崎 菜緒(京都西山高校・京都) 松見 渚(京都西山高校・京都) 中村 優花(筑陽学園高校・福岡) 小倉 瑞希(倉敷総合産業高校・鳥取) 園部真里茶(佐賀女子高校・佐賀) 梶山 奈々(香ヶ丘リベルテ高校・大阪) 屋瀬 未奈(須磨浦高校・兵庫)	岩崎 比那(興譲館高校・岡山) 橋本 紗季(近大附属高校・大阪) 森本 山崎 紗英(和歌山工業高校・和歌山) 新田 伊純(園田学園高校・兵庫) 北 倫 (尼崎小田高校・兵庫)
【バレーボール部】	河嶋 里奈(浜坂高校・兵庫) 横村 奈保(高知中央高校・高知) 上野 美里(高知中央高校・高知) 大角 維(日ノ本学園高校・兵庫) 嶋林 梨那(守山北高校・滋賀) 朝野みなみ(浜坂高校・兵庫) 吉田 春風(箕面自由学園高校・大阪) 林 優香(大阪学院高校・大阪) 松村 舞(東海大仰星高校・大阪) 惣田 紗加(明德義塾高校・高知) 曾我部明香(神戸星城高校・兵庫)	稲岡 真由(塔南高校・京都) 今井 美夢(近大附属高校・大阪) 大浦 沙紀(夙川学院高校・兵庫) 大橋 唯花(姫路商業高校・兵庫) 大迫 悠綺(あべの翔学高校・大阪) 大達 希望(西脇工業高校・兵庫) 大橋 沙季(玉野光南高校・岡山) 大平優希子(薫英女学院高校・大阪) 岡本 奈緒(姫路商業高校・兵庫) 奥村 春花(枚方高校・兵庫) 川畑さくら(咲くやこの花高校・大阪)
【バスケットボール部】	井上 彩来(桜宮高校・大阪) 小林佑実子(四日市西郷高校・三重)	榊 通(加古川北高校・兵庫) 佐藤 瞳(塔南高校・京都) 鈴木 彩芳(城南学園高校・大阪) 鈴木まひる(乙訓高校・京都) 竹上ほの香(西京高校・京都) 鐵丸美由紀(鹿児島女子高校・鹿児島) 西山すみれ(三瓶高校・愛媛) 那須 真由(明石商業高校・兵庫) 山崎 陽花(博多女子高校・福岡) 船原 芽生(摂津高校・大阪) 堀出 百花(京都橋高校・京都) 宮本まきの(徳山商工高校・山口) 武藤さくら子(明石商業高校・兵庫) 森田 玲加(園田学園高校・兵庫) 森本 千春(西城陽高校・京都) 萬 杏菜(西城陽高校・京都) 中植 真由(園田学園高校・兵庫) 大塩 明音(鳴尾高校・兵庫) 友定沙季江(三木北高校・兵庫) 浜辺 美沙(大阪信愛女学院高校・大阪) 山口 華子(倉進高校・広島) 清水 柚香(桜宮高校・大阪) 木村 美緒(明石西高校・兵庫)

※カッコ内は出身高校

◆関西学生春季リーグ戦結果

1次リーグ	第1戦 ○4-0天理大 第2戦 ○8-4神戸親和女大 第3戦 ○8-1大阪国際大 第4戦 ○4-1武庫川女子大
2次リーグ	第5戦 ○7-0太成学院大 第6戦 ○7-0大阪大谷大 第7戦 ○3-1立命館大 第8戦 ○5-0奈良学園大学 奈良文化女子短大

【最優秀投手賞】
原田 悠：防御率0.66
【打撃部門】
最優秀打撃賞=石川恭子：打率0.550
第3位=田中瑠莉：打率0.500
第4位=二宮はな：打率0.470
田井亜加音
第7位=児嶋 優：打率0.438
【盗塁賞】
田中瑠莉：5個
【ベストプレイ賞】
石川恭子

快挙 10季連続

春季関西学生リーグ全勝

個々の力がチームに結晶



原田・石川が投打のMVP

第47回春季関西学生ソフトボールリーグ戦で園田学園女子大は全勝で10季連続優勝に輝いた。無傷のリーグ制覇はこれで3季連続。投げては原田悠（総合健康学科3年）が最優秀投手賞、打っては石川恭子（同1年）が最優秀打撃賞を受賞するなど個々の能力も高い。「がむしゃら」に「一生懸命」を掲げる新チームが、全日本大学選手権の栄冠をめざして絶好のスタートを切った。

4月12日の開幕戦は天理大と対戦。初戦の緊張から大と対戦。初戦の緊張から

我慢のち快勝で勢い

か、なかなか得点が入らずじれったい展開が続いた。投手陣は先発の原田が落ち着いたゲームメイクを見せ、5回まで要所を抑えた。6回からは原奈々（児童教育学科2年）がマウンドに上がった。

ゲームが動いたのは4回。セーフティバントと四球で1アウト1・2塁を築くと、9番の鈴木まゆ（総合健康学科3年）が値千金の本塁打を打ち、3点を先制。5回に追加点をあげ、快勝した。

新チームになって初の公式

新 スポーツセンター誕生

SONODAの競技力と健康の発展に期待



2015年春、「スポーツのSONODA」の魅力を結集したスポーツセンターが完成しました。バスケットボール、バレーボール、バドミントンの公式戦も行える各コートを設置するメインアリーナをはじめ、剣道場などとして使用できるサブアリーナ、トレッドミルなど多彩なマシンがそろったトレーニングルーム、ミーティングや合宿も可能な多目的ルーム、シャワールームや各クラブの部室など、充実した機能と設備を有します。



▲クラブに所属する学生は、授業使用時を除き、自由にトレーニングルームを使用できます。

スポーツのあらゆるニーズに応える施設として、園田の運動部のさらなる飛躍はもちろん、スポーツと健康に関わる人材を育成する役割が期待されています。

第3戦以降はゲームの主導権を譲らず、効果的に得点をあげ、完封あるいは最

大学日本一に向かって

戦は硬さが見られたが、キャプテン二宮はな（同4年）を中心に、3年生の原田、鈴木がチームを落ち着かせた。

第2戦も相手主砲に2ランを1回と3回に浴びて4失点を喫する苦戦。しかし4回の加藤愛夢（同2年）の本塁打をきっかけに一気にたたみ掛け、8-4で勝利した。



二宮はな（総合健康学科4年）

少失点で勝ち星を重ねた。リーグ戦序盤はもたついた試合もあったが、試合を経験することにチームは地力を発揮。最終日を待たずして優勝が決まった。

川恭子（総合健康学科1年）ら個人力も光った。石川は原、屋瀬未奈（同1年）とともに世界女子ジュニア選手権のU19日本代表に選出された。

2015年シーズンをリーグ戦10季連続優勝で好

“日本代表”で活躍する先輩たち

平成27年度女子 TAP-A(U24A) 日本代表

古澤春菜 (トヨタ自動車)
内野手
平成26年度・総合健康学科卒業
◇USAワールドカップ準優勝
◇カナディアンオープン予選リーグ中 (7月8日現在)

平成27年度女子 TAP-B(U24B) 日本代表



胡子路代 (Honda)
内野手 (左2人目)
平成24年度・総合健康学科卒業

清原奈侑 (日立)
捕手 (左端)
平成25年度・総合健康学科卒業

泉 礼花 (日立)
投手 (右端)
平成25年度・総合健康学科卒業

◇東アジアカップ優勝 (大会4連覇) (6戦中、泉は2勝)



田中瑠莉（総合健康学科4年）

発達した園田学園女大。新入生も12人が加わり、チームは活気にあふれている。西日本インカレ4連覇&全日本インカレのタイトルを奪還という次なるターゲットに向かって、さらなるレベルアップを期待したい。

陸上競技部 アジア選手権代表

宇都宮絵莉さん
人間教育学部 児童教育学科4年
園田学園高校 (兵庫) 出身

主な活躍
2008年全国日本中学校体育大会 女子走幅跳優勝
2011年全国高校総体女子走幅跳優勝 国体少年女子走幅跳優勝
2014年日本選手権混成女子七種競技6位
日本学生対校選手権女子七種競技3位
2015年アジア選手権女子七種競技7位

- 大学で好きな授業…… 図工
- 私の学食ベストメニュー ささみチキンかつ
- 好きな言葉…… 前向き
- 陸上を始めたきっかけ… 走るが好き
- 2015年度の目標
ケガをせず、常に自分のベストを尽くす!

<藤川浩吉監督が語る宇都宮選手のイイところ>
自主的に朝練習を行ったり、兵庫県の中学校の強化合宿に参加したりと日頃の努力を惜しまない選手。スピード持久力に優れ、跳躍力もあるので七種競技に適性がある。

ソフトボール部 女子U19日本代表

屋瀬未奈さん 内野手
人間健康学部 総合健康学科1年
須磨ノ浦高校 (兵庫) 出身

主な活躍
2012年国体少年女子優勝
2014年全国高校総体ベスト4

- 大学で好きな授業
体操
- 私の学食ベストメニュー
チキンおろしかつ
- 好きな言葉
切磋琢磨
- ソフトボールを始めたきっかけ
母の影響です。
- 2015年度の目標
レギュラーになって、日本一!

<木田京子監督が語る屋瀬選手のイイところ>
確実な守備をしてくれる。走塁もうまく、安定した選手。小柄だが、グラウンドに入れば、彼女の存在感は大きい。

石川恭子さん 内野手
人間健康学部 総合健康学科1年
藤村女子高校 (東京) 出身

主な活躍
2013年国体少年女子準優勝
2013年全国私学大会優勝
2014年全国高校総体出場

- 大学で好きな授業
スポーツ (ソフトボール)
- 私の学食ベストメニュー
チキンおろしかつ
- 好きな言葉
上向いてできる!!
- ソフトボールを始めたきっかけ
ソフトボールをやっている姉を見て、私もやりたくなった。
- 2015年度の目標
活躍してチームを日本一に導く!

<木田京子監督が語る石川選手のイイところ>
打撃センスがピカイチ。春のリーグで1年生ながら首位打者を獲得。U19JAPANでは副キャプテンとしてもチームを引っ張ってほしい。

原 奈々さん 投手
人間教育学部 児童教育学科2年
羽衣学園高校 (大阪) 出身

- 大学で好きな授業
乳児教育
- 私の学食ベストメニュー
とろろそば
- 好きな言葉
勇気凛々
- ソフトボールを始めたきっかけ
兄がソフトボールをしていたから。
- 2015年度の目標
“日本一”に向けて頑張ります!

<木田京子監督が語る原選手のイイところ>
明るくて活発。常に向上心を持っている。体格を生かしたドロップ系のボールが特徴で、力強いピッチングができる。

園田から世界へ
日本代表の園田のアスリートたち